



あざっす

やったね

▲朝イチにイナダが回遊してきてトリプルヒットもあった

▶ヒットしたら竿を海面に向けてゆっくり巻き上げるのがスロジギのやりトリ



ヨッシーの頭上に
輝くレインボー

▲釣り場は日立沖の水深40~50メートル前後

吉岡進の釣りを楽しく感じるままに

E2F

Enjoy Every Fishing no.06

茨城県日立沖の スロジギ

撮影◎本誌編集部

★1投目で5.5
キロのヒラメを
ゲット

おっ、重いけど
超うれし〜い!

●シャクリ幅50センチで1回シャクリごとにハンドルを4分の1~2分の1回転と小刻みに巻き、毎回ジグを持ち上げてフォールさせる。青物も釣れるので底から10メートル上まで誘ったら底を取り直す。

スロジギの釣り方

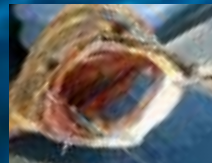
リフト&フォールで
スローに誘う



これはデカイよ!
船長、タモ入れ
お願いします

ヨッシーこと吉岡進がルアー釣りを中心に色いろな釣り物を狙い、毎回釣りの楽しさを伝えていく「Enjoy Every Fishing」(略してE2F)。

第6回は茨城県日立沖のスローヒットシャクリジギング(以下スロジギ)。スロジギといえばアカムツなどを狙う中深海など各地に釣り場はあるが、夏から秋にかけて面白いのが日立沖。釣れるのはヒラメやイシナギ、イナダ、ワラサ、タチウオ、クロソイ、マズイ、オキメバルなど多彩。水深が比較的浅く、使うジグも120~150グラムと扱いやすいため入門にも最適だ。



◀ジグを丸飲みにして上がってきた



HIT LURE : BamBluz JIG SLOW 150g
Color : アカキン / マグマウェーブホロ

●パンブルズジグ スローはフラッシングやスライドフォール、イレギュラーなスライドフォールがランダムで発生し、ターゲットを誘う

◎浮上したヒラメを見てヨッシーがと叫ぶ。「デカイよ!」

Profile ◆よしおか すずむ
1982年生まれ。ヨッシーの愛称で親しまれている。一つテンヤマダイ、ライト系オフショアルアーを得意とする。ジャッカルソルトプロスタッフ、シーガーインストラクター。

◆本編(64ページより)は高橋剛が執筆。船釣りの楽しさをヨッシーとともにお伝えします!





▲強烈な引きで注目を集める鹿島さん。浮上する魚影から一瞬イシナギに見えたが正体はクロソイ



▲底上10メートルまで探るとワラサがヒット
▶5キロ級のワラサ
▼底から少し浮いたところでクロソイが食ってきた



▲マゾイ(キツネメバル)も釣れた
◀良型のクロソイも上がった



▲タチウオも交じった
▶アベレージは1.5キロ前後
◀底上5メートルで食ってきた



▲日が高くなってからもヒラメがよく釣れた
◀2枚目のヒラメを上げて満足のヨッシー



▲4キロ級のヒラメ

#船宿インフォメーション information

茨城県日立会瀬港 第二海神丸

☎090-1887-7753
(詳細は巻末の情報欄参照)

●第二海神丸はスロジギやSLJ、青物ジギングなどのルアー釣りと一緒にテンヤマダイ&タイラバで周年出船。6キロ以上のヒラメ、3キロ以上のマダイを釣った方は「大物賞」、7キロ以上のワラサ、ヒラマサ、サワラを釣った方には「青物賞」として半年間有効の無料乗船券が贈呈されるので挑戦してみるのも面白い。
●料金=スロージギ乗合(氷付き)、料金は電話にて確認を
●備考=予約乗合、5時集合、5時半出船。一つテンヤマダイ&タイラバへも出船



▲船着き場は港の南側奥の岸壁
▼タモ入れは船長におまかせ

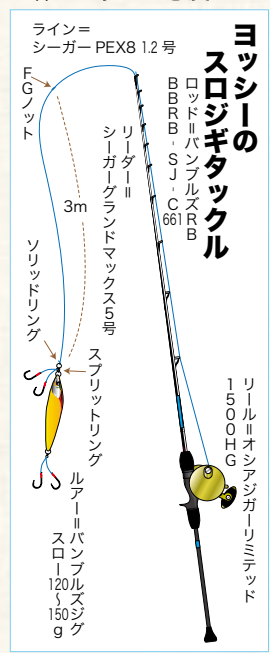


●森 敬船長(写真右)

#Enjoy Every Fishing Tackle guide

日立沖のスロジギタックル

●タックルは全長2メートル前後のスロジギ専用ロッドと、リールは巻き上げ力の強いジギング用両軸リールの組み合わせ。道糸は着底やアタリが分かりやすい伸びが少なく感度のいいPEラインがおすすめ。



▲ヨッシーはジグの重さ(MAX160グラム対応とMAX200グラム対応)で使い分けられるよう2タックルを用意。当日はMAX160グラム対応のタックルを使用



▲ジグはスロジギ用の120~150グラム。カラーはゴールド系、シルバー系ともによく釣れた。フォールの姿勢を安定させるため、ツインフックをフロントとリアに付ける

フォールのアタリを掛けたときの重量感が気持ちイイ



◀反応がなければジグを交換する。重くしてフォール速度を上げてみたり、カラーを替えたりと色いろ試してみよう

8月下旬に釣行したのは茨城県日立会瀬港の第二海神丸。森敬船長が船を向けたのは日立沖水深40~50メートル前後の魚礁や根周り。
1投目でヨッシーが5キロのヒラメを釣り上げると、続いて青物が回遊してきてイナダが次つぎにヒット。日が高くなってからはさらに勢いを増し、ヒラメに加え、ワラサ、タチウオ、クロソイなども釣れ上がり、文句なしの釣れっぷり。ヒラメは全員安打を達成し、船上は盛り上がった。
日立沖の豊かな海でスロジギを堪能したヨッシー。詳しくは64ページから始まる本編にて！

●スロジギはリフト&フォールで底付近を探るのが基本